表 第 30 回日本環境感染学会総会・学術集会 動画配信内容一覧

教育講演 3	司会：針原 康（NTT 東日本関東病院）
「諸外国におけるサーベイランスの活用とその課題－ VAP（Ventilator-Associated Pneumonia）から VAE（Ventilator-Associated Event）への変更－」	渡邊 都貴子（岡山大）
「アメリカのサーベイランスシステム：現在・過去・未来」	森兼 啓太（山形大）
シンポジウム 4「手指衛生を取り巻く課題とその動向」	司会：満田 年宏（横浜市大）・菅野 みゆき（慈恵医大附属柏病院）
「手指衛生モニタリングとその効果的な活用方法」	操 華子（宮城大）
「手指衛生コンプライアンス改善に必要なこと、期待されていること」	林 淑朗（亀田総合病院）
「我が国における生体消毒薬の薬事審査のプロセスとその評価体系」	杉山 和夫（PMDA）
シンポジウム 9「感染制御の視点で耐性菌を再考する」	司会：岩田 敏（慶應義塾大学）・幸福 知己（財）住友病院）
「MRSA の進化から考える次なる感染制御への戦略」	菊池 賢（東京女子医大）
「カルバペネム耐性グラム陰性桿菌」	柴山 恵吾（国立感染症研究所）
「薬剤耐性結核」	松本 智成（大阪府結核予防会 大阪病院）
ワークショップ 1-3 薬剤師・臨床工学技士企画「内視鏡洗浄消毒で保証したい品質の再現性と限界」	司会：西岡 達也（神戸大）・吉村 兼（神戸大）
「高水準消毒薬の特徴と管理方法」	小阪 直史（京都府立医大）
「内視鏡洗浄における ATP を用いた清浄度評価～日常業務における洗浄・消毒作業の取り組みと工夫～」	阿部 真也（大阪医大）
「内視鏡洗浄消毒装置における消毒剤濃度管理の実際と問題点」	馬場 朱美（山下病院）
「トレーサビリティを意識した内視鏡清浄化管理の実際と問題点」	野田 有希（神戸大）
教育セミナー「日本における感染管理認定看護師のためのコンピテンシー・モデル」	司会：操 華子（宮城大）
「感染管理認定看護師のコンピテンシー・モデルの開発」	操 華子（宮城大）
「感染管理認定看護師のコンピテンシーの現状とコンピテンシー・モデルの試案」	川上 和美（順天堂大）
“The Development of Competency Models for the Certified Infection Control Nurse in Japan; building on existing international competency models to improve patient safety”	Russell N. Olmsted (ISaint Joseph Mercy Health System)
第 11 回教育委員会講習会「血流感染について考える」	司会：森兼 啓太（山形大）・小野 和代（東京医科歯科大）
「血流感染症のオーバービュー」	笠原 敬（奈良県立医大）
「血管内留置カテーテル関連血流感染を防止するための ICN と看護師の役割」	高野 八百子（慶應義塾大）
「血流感染対策へのアプローチ～ICT 薬剤師からのお願い～」	高山 和郎（東大）
「微生物検査室が行うべき血液培養検査のアセスメント」	三澤 成毅（順天堂医院）
「総括発言」	森兼 啓太（山形大）
「チームで行う感染対策強化のための戦略的ツール：米国と日本の実践から学ぶこと」	司会：満田 年宏（横浜市大）・塚本 容子（北海道医療大）
～国際委員会と APIC のジョイントプログラム～	
「イントロダクション（国内外の背景を含めて）」	塚本 容子（北海道医療大）
「米国での取り組み：「職種間連携の特徴を踏まえた感染対策の実践と教育・研究 “The Nature of Interprofessional Collaboration in Infection Prevention and Control Practice and Education”」	Mary Lou Manning（2015 年 APIC 会長）